



8・9月号

令和8年8月26日

与野西北小だより

開校60周年
キャラクター
ろくまる

学校経営方針 【みんなでつくる みんなの与野西北小学校】

児童会スローガン【 せ・い・ほ・く だ・い・す・き 】

【学校教育目標】 ◇みんなと協力する子（徳育） ◇自分の力で考える子（知育）
◇心身ともに健康な子（体育） ◇人との関わりを大切にする子（養育）

与野西北小学校Tel853-0109 ホ-ム-ペ-ジ アドレス <http://yonoseihoku-e.saitama-city.ed.jp/>

自分で考えて行動する力

校長 緒方 健二

長い夏休みが終わり、子どもたちの元気な姿が戻ってきたことをとても嬉しく思います。この夏は、地震や大雨等による大きな自然災害が、日本各地だけでなく世界中で発生しました。ニュースを見て、不安を感じた方も多かったのではないのでしょうか。災害は、いつどこで起こるかわかりません。だからこそ、子どもが自分の身を守るために、「自分で考えて行動する力」を身に付けることの大切さを改めて感じました。

この「自分で考えて行動する力」は、災害時だけに必要なものではありません。本校には、800名を超える子どもたちが在籍し、毎日、元気いっぱい学校生活を送っています。活発に活動しているため、友達同士のトラブルが起きることもあります。例えば、友達の言葉に腹を立ててしまいそうとき、遊びのルールで意見が合わないとき、ちょっとしたことで言い合いになりそうとき……こうした場面こそ、「このままだとどうなるだろう」「どうするのが一番よいだろう」と考えて行動する力が必要になります。

本校では、今年度から重点目標として「自ら考え進んで行動するエージェンシーの育成」を掲げています。様々な機会に子どもたちにも伝えていきます。そこで2学期の始業式では、子どもたちに次の3つの力を意識してほしいと伝えていきます。

- ☑ **気づく力** : 日々の生活の中で、小さな変化や友達の気持ちに**気づく力**
- ☑ **予想する力** : 「こうしたらどうなるのかな？」と一歩先を**予想する力**
- ☑ **選ぶ力** : いくつかの選択肢から「これが一番よい」と自分で**選ぶ力**

この3つの力は、災害時はもとより、日常生活、学習にも役立つ大切な“力”となります。2学期は、学習や行事を通して子どもたちが大きく成長する大切な時期です。3つの力を発揮していくと、うまくいくこともあれば、うまくいかないこともあると思います。うまくいかないときには、そこから新たな気づきができれば、素晴らしいことだと思います。自分で考えて行動した結果の失敗は、次につながる宝物となります。

そして、この3つの力が合わさったとき、子どもたちは誰かに言われるのではなく、「**自分で考えて行動する人**」へと大きく成長していきます。アメリカの学者アラン・ケイは、「**未来を予測する最善の方法は、それを発明することだ**」という言葉を残しました。子どもたちが自らの気づきと予想、そして選択によって、自分の未来をたくましく創り出していけるように、学校と家庭、地域で温かく支え、育んでいきたいと考えています。

保護者の皆様、地域の皆様には、今学期も引き続き温かいご支援を賜りますようお願いいたします。